

財務 R4 青色申告決算書(収支)新様式対応と機能改善版 (Ver.20.10) の予定

財務 R4 青色申告決算書および収支内訳書の新様式対応と機能改善版 Ver.20.10 のリリース予定についてご連絡いたします。

1. 発行プログラムと対象バージョン

システム名	リリースバージョン	データ移行対象	データ互換対象プログラム	保守加入対象
IKX財務会計 R4 財務顧問 R4 Professional 財務顧問 R4 Basic 財務応援 R4 Premium (*1) 財務応援 R4 Lite+ (*1) 財務応援 R4 Lite (*1) 財務応援 R4 Lite for IKX (*1) Weplat 財務応援 R4 工事台帳 (*1) Weplat製品も対象です	20.10	17.1以降	19.20以降 制限事項がある場合、リリースインフォメーションにおいてご案内します。	19.1以降
IKX財務会計 原価管理オプション 財務顧問 原価管理オプション	G4	-	-	-

※Ver.20.10にバージョンアップ後にライセンス認証が必要です。

※Weplat 財務応援R4のCD版をご利用のお客様も、会計マイページからプログラムがダウンロードできます。

※原価管理オプション G4が同時にリリースになります。G4への更新後にG4のライセンス認証が必要です。

2. 日程

2-1.E i ボードダウンロードマネージャー、エプソンマイページの公開 (予定)

2020年1月16日(木) 午前 9:00

2-2.オプションの CD 保守契約の場合 (送品開始予定日)

2020年1月27日(月)

3. 青色申告決算書および収支内訳書の対応について

青色申告決算書の対象システム： IKX財務会計R4／財務顧問 R4 Professional／
財務顧問 R4 Basic／財務応援R4 Lite／財務応援R4 Lite for IKX

収支内訳書の対象システム： IKX財務会計R4／財務顧問 R4 Professional／財務顧問 R4 Basic

3-1. 新様式対応

青色申告決算書および収支内訳書の新様式に対応します。

新様式では「売上（収入）金額」、「仕入金額」の欄に「うち軽減税率対象」が追加されています。

3-2. 旧財務連動の廃止

旧財務システムのサポート終了および、財務 R4 コンバーターの提供終了（財務 R4 Ver.19.2 から）に伴い、旧財務からのデータ取り込み機能がなくなります。

青色申告決算書・収支内訳書の入力画面から、「旧財務連動」ボタンを削除します。

4. 機能改善について

4-1. 仕訳検索チェックリストの機能改善(1)

仕訳検索チェックリスト出力に元帳形式タイプを追加します。

仕訳検索画面「Ctrl」+「F11 チェックリスト」ボタンをクリックするとポップアップメニューが表示され、出力タイプを選択できます。



仕訳検索チェックリスト(元帳)出力内容は、検索した仕訳のみ元帳形式で出力します。

日付	相手科目名	部門	摘要	部門	借方金額	貸方金額	残高
3 31.04.01	普通預金 2				500,000		500,000
4	消耗品費			仕入		100,000	400,000
6 31.04.30	商品仕入高 12			12	332,333	仕入	732,333

4-2. 仕訳検索チェックリストの機能改善(2)

仕訳検索チェックリストの出力タイプを設定を追加します。科目コードを出力するタイプを追加します。

「設定」 - 「入力環境設定」 - 「会社毎」 - 「仕訳チェックリスト出力タイプ」で設定します。

会社毎		PCユーザー毎		入力済仕訳	
入力環境			チェック等		
仕訳表示順	<input checked="" type="radio"/> 入力順	<input type="radio"/> 日付順	二重伝票チェック	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
仕訳検索表示順	<input checked="" type="radio"/> 入力順	<input type="radio"/> 日付順	先行伝票チェック	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
参照窓自動表示	<input checked="" type="radio"/> 窓表示する	<input type="radio"/> 窓表示しない	チェック日数	3 日前から	
補助科目名の自動コピー	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない	伝票取消の操作	<input type="radio"/> 仕訳を完全に削除する	<input checked="" type="radio"/> 取消仕訳にする
補助コピー (貸借両方入力時)	<input type="radio"/> 両方コピーする	<input type="radio"/> 選択窓から選択する	伝票入力チェック	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
優先挿要語句	<input type="radio"/> 固定語句	<input checked="" type="radio"/> 連想挿要	仕訳検索チェックリスト出力タイプ	<input checked="" type="radio"/> 金額両側タイプ	<input type="radio"/> 金額片側タイプ
連想挿要の表示方法	<input type="radio"/> 借方/貸方を別々に表示	<input checked="" type="radio"/> 借方/貸方の両方を表示	伝票記帳時の印刷	<input type="radio"/> メッセージを出して印刷	<input checked="" type="radio"/> メッセージを出さずに印刷
補助科目の連想挿要	<input checked="" type="radio"/> 主科目の連想挿要も含めて表示	<input type="radio"/> 補助科目のみの連想挿要を表示	印刷しない	<input checked="" type="radio"/> 印刷しない	
部門表示	<input checked="" type="radio"/> 部門コード	<input type="radio"/> 部門表示名	仕訳検索チェックリスト出力タイプ		
碎書登録	<input checked="" type="radio"/> 入力行のみ	<input type="radio"/> マスター登録	<ul style="list-style-type: none"> ・金額両側タイプ:科目コードなし(旧応援形式) ・金額片側タイプ:科目コードあり(旧KX形式) 		
込/抜優先方法	<input checked="" type="radio"/> 前仕訳の込/抜を継承	<input type="radio"/> 会社情報の試算表出力区分を			
	<input type="radio"/> 込	<input type="radio"/> 抜			
個別元帳入力形式	<input checked="" type="radio"/> 掃替形式	<input type="radio"/> 帳簿形式			
帳簿入力順	<input type="radio"/> 科目→挿要	<input checked="" type="radio"/> 挿要→科目			
仕訳入力タイプ	<input checked="" type="radio"/> 標準タイプ	<input type="radio"/> 貸借タイプ			
伝票挿要	<input type="radio"/> 使う	<input checked="" type="radio"/> 使わない			
碎書参照窓自動表示	<input checked="" type="radio"/> 窓表示する	<input type="radio"/> 窓表示しない			

【金額両側タイプ】 (従来)

日付	借方金額	貸方金額	借方科目	貸方科目	借方金額	貸方金額	挿要
1 31.04.01	10,000.00		現金	商品売上高A商事	10,000.00		
2		200,000.00	現金	商品売上高A商事		10,000.00	

科目コードなし

【金額片側タイプ】 (今回追加)

日付	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額	金額	挿要
1 31.04.01	現金	10,000.00	商品売上高A商事	10,000.00		
2	現金		商品売上高A商事	10,000.00	10,000.00	

科目コードあり

4-3. 仕訳を決算整理月⇔通常月へ変更する機能の追加

仕訳入力画面で「年入力」の場合に、決算整理月(中間・期末・四半期)に入力した仕訳を通常月へ変更する機能を追加します。

日付欄上でマウスのクリック操作により変更できます。通常月から決算整理月への変更もできます。

【仕訳入力画面】

日付欄上で「左」クリック
下のメッセージが表示され「はい」を選択すると変更できます。

- ・決算整理月の仕訳を通常月へ変更する場合
- ・通常月の仕訳を決算整理月へ変更する場合

確認

決算整理月から通常月に変更します。

確認

通常月から決算整理月に変更します。

日付	伝No.	部門	借方	貸方	金額
期末			(100 -)	(810 - 1)	()
3. 31	1	現金		商品売上高A商事	100,000
摘要				税区 11 売込	率 10 %
				期日	No.

日付欄上で「右」クリック
日付欄上で「第1四」→「中間」→「第3四」→「期末」→「空白(通常)」の順で表示が切り替わります。

4-4. 入力画面の背景色の変更機能の追加

入力画面の背景色を変更できる機能を追加します。

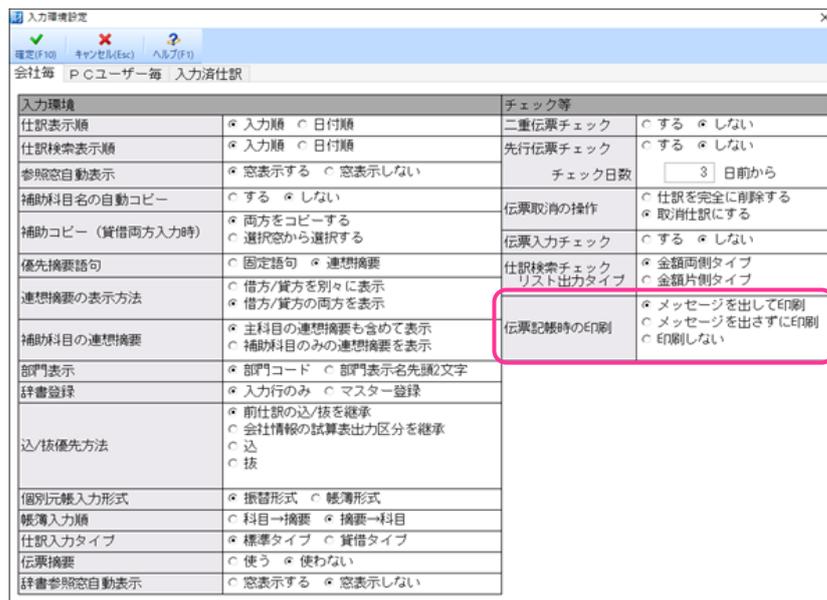
仕訳入力・仕訳検索・個別元帳・手形台帳入力／帳簿入力／取込仕訳チェック画面の背景色を変更できます。「設定」－「入力環境設定」－「PC ユーザー毎」タブの背景色で、各入力画面の背景色を設定します。



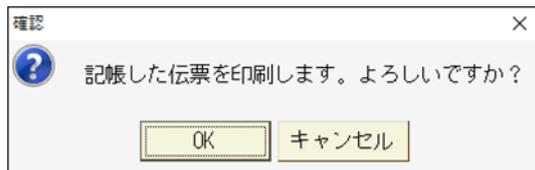
4-5. 伝票入力画面からの印刷機能の追加

振替伝票・入金伝票・出金伝票入力で、記帳時に表示されている伝票の印刷をする機能を追加します。

伝票記帳時の動作を「設定」－「入力環境設定」－「会社毎」タブの「伝票記帳時の印刷」で設定します。



「メッセージを出して印刷」を選択した場合のみ、伝票入力画面で伝票を入力した後 「F12記帳」ボタンを押すと、下記のメッセージが表示されます。「OK」をクリックすると伝票が印刷されます。



4-6. 配賦額の端数調整設定する機能の追加

対象システム： 財務応援R4 Lite／財務応援R4 Lite for IKX以外のシステム

配賦額に余りが生じた場合に、余った金額の加算先(部門)を指定できるようになります。「配賦方法設定」に「端数調整部門」の選択肢を追加します。



【端数調整部門の選択】

- 金額の大きい部門：配賦額が一番大きい部門
同金額の場合は、以下のいずれかを選択します。
最小部門コード／最大部門コード／
登録順（従来 of 調整方法です。システムに先に登録された方の部門）
- 最小部門コード
- 最大部門コード

4-7. 配賦方法設定の機能改善

対象システム： 財務応援R4 Lite／財務応援R4 Lite for IKX以外のシステム

配賦設定画面の右上に「任意基準 1～3」のボタンを追加し、財務応援 Ai の配賦基準と同様の設定ができるようになります。

従来 of 「任意率 1～3」では配賦合計が 100% にならないと配賦設定ができませんでしたが、「任意基準 1～3」では、配賦合計が 100% にならなくても配賦設定ができます。



配賦区分設定で任意基準にしたい場合には、追加された「任意基準 1～3」を参照窓から選択します。

No.	部門コード	共通部門	配賦先部門	配賦適用対象	配賦区分
1	1000 本社		3 指定部門のみ	1 全科目共通	0 配賦しない
2	21 大阪営業部		1 全部門(共通除く)	1 全科目共通	0 配賦しない

0. 配賦しない	5. 人件費比率	会社	11. 製造経費比率	会社	31. 任意基準1	会社
1. 人員比率配賦	6. 材料費比率	会社	12. 製造原価比率	会社	32. 任意基準2	会社
2. 面積比率配賦	7. 労務費比率	会社	14. 任意比率1	会社	33. 任意基準3	会社

「配賦情報一覧表」の「条件設定」でも「任意基準 1～3」を選択できます。財務応援 Ai の配賦基準と同様の配賦方法で計算します。

《例》

■ 配賦率が以下の場合

A課 20%
B課 20%
C課 60%

従来からある任意率 1～3 は、配賦基準値の合計で配賦率を計算しないが、新設 of 任意基準 1～3 は、「指定部門のみ」に配賦した場合でも、配賦基準値の合計で配賦率を計算する

■ 本社経理部の〇〇費用の 10,000 円を指定部門のみ(A課とB課)に下記の条件で配賦した場合

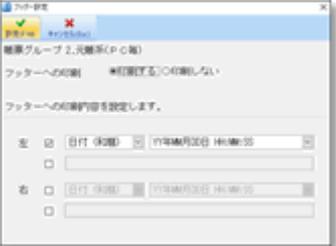
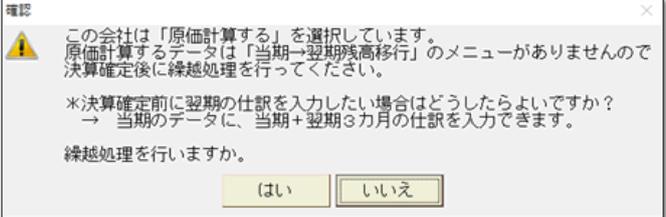
- ・「配賦方法設定」-「配賦先設定」に A 課と B 課を設定
- ・「端数調整部門」で「金額大きい部門(登録順)」を選択

	任意率 (従来)	
A課	80%配賦	(配賦率 20%) → 8,000円
B課	20%配賦	(配賦率 20%) → 2,000円

	任意基準 (20.1新設)	
50%配賦	(配賦率 20%)	→ 5,000円
50%配賦	(配賦率 20%)	→ 5,000円

4-8. その他の機能改善

機能	内容												
仕 訳 検 索	<p>仕訳検索結果から個別元帳画面に移動する「F9個別元帳」を追加します。 ※表示される内容は仕訳検索結果内容のみです。</p> 												
	<p>仕訳検索後に2次検索ができるようになりました。「Shift」+「F8C」を追加しています。検索条件を変更して2次検索を繰り返し実行すると、指定した条件でさらに検索されます。</p> 												
	<p>仕訳検索の表示順と、仕訳入力の表示順を、それぞれ分けて設定できるようになります。「設定」-「入力環境設定」-「会社毎」タブに「仕訳検索表示順」設定を追加します。</p> 												
仕 訳 入 力	<p>伝票番号の自動付番を改善します。 【Ver. 19.3以前】入力済の伝票番号の最大番号+1を自動付番<<例：No.100+1・・・No.101>> 【Ver. 20.1】直前伝票の伝票番号+1を自動付番（空き番号がある場合のみ） <<例：No.10+1・・・No.11>></p> <table border="1" data-bbox="343 1041 1029 1310"> <thead> <tr> <th><<例>></th> <th>【19.3以前】</th> <th>【20.1】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入力済の伝票番号</td> <td>No.1 No.2 No.100</td> <td>No.1 No.2 No.100</td> </tr> <tr> <td>直前の伝票番号</td> <td>No.10</td> <td>No.10</td> </tr> <tr> <td>新規に伝票入力した時の自動付番</td> <td>No.101</td> <td>No.11</td> </tr> </tbody> </table>	<<例>>	【19.3以前】	【20.1】	入力済の伝票番号	No.1 No.2 No.100	No.1 No.2 No.100	直前の伝票番号	No.10	No.10	新規に伝票入力した時の自動付番	No.101	No.11
	<<例>>	【19.3以前】	【20.1】										
	入力済の伝票番号	No.1 No.2 No.100	No.1 No.2 No.100										
直前の伝票番号	No.10	No.10											
新規に伝票入力した時の自動付番	No.101	No.11											
<p>連想摘要の設定をしていない科目を仕訳入力した場合にも、摘要一覧に「固定語句」を表示するようにします。</p>													
<p>仕訳入力画面の列幅を変更した場合、①列幅の記憶と、②列幅を元に戻す機能を追加します。</p> <p>①次回入力画面を開いたときは、前回と同じ列幅で表示されます。 （IKXは対応済 顧問/応援系は今回対応）</p> <p>②画面右上に「列幅を元に戻す」ボタンを追加します。</p> 													
会社選択	<p>起動時、会社選択画面のグループタブの固定表示ができるようになります。グループタブ右上のピンマークをクリックすると、次回起動時、前回のグループタブで表示されます。</p>  <p>この表示内容が記憶される</p>												

仕訳データ作成/取込	<p>原価管理データの仕訳データ作成/取り込み/検索照合テキスト作成に対応します。ヘッダー名「借方工事コード」、「貸方工事コード」の項目を使用して、工事コードの作成、取り込みをします。 ※仕訳データ取込では、自動仕訳は取り込みません。</p> <p>対象システム： 原価管理オプション/財務応援R4 工事台帳</p>
総勘定元帳	<p>総勘定元帳・補助元帳にフッター印刷する機能を追加します。総勘定元帳画面に「フッター設定(F12)」ボタンで設定します。 対象元帳様式：元帳A4(2行1明細)・元帳A4(1行1明細)・旧応援(2行1明細)・旧応援(1行1明細)</p>  <p>【フッター設定画面】</p> 
個別元帳	<p>日付欄にカーソルがある時に、画面下のガイダンスに [Ins] キーについての表示を追加します。 [Ins]キーを押すと、「上書きモード」と「訂正モード」が切り替わります。(従来からの機能です。)</p> <p>【上書きモード】</p>  <p>【訂正モード】</p> <p>[Enter]キーを押すと「元号→年→月→日」の順で移動します。</p> 
各マスターの再生	<p>仕訳番号の再付番を改善します。 挿入仕訳の仕訳番号は指定した順番(入力順/日付順)で再付番されていませんでしたが、再付番するようになります。</p>
原価管理データの繰越処理	<p>原価管理データでは「当期→翌期残高更新」ができないため、繰越処理時にメッセージを追加します。下の確認メッセージが表示されます。</p>  <p>対象システム： 原価管理オプション/財務応援R4 工事台帳</p>

帳簿入力	<p>帳簿入力において、科目性質を見て「借方/貸方」を判断し初期カーソルが金額欄へ移動するようになります。（IKXは対応済 顧問/応援系は今回対応） 対象：現金出納帳・銀行帳・帳簿選択入力・個別元帳</p>
仮仕訳 入力 仮伝票 入力	<p>仮仕訳/仮伝票入力時、承認済みの伝票は、訂正/削除ができないようにします。 承認済み伝票は訂正/削除できませんので、振替仕訳にて処理してください。</p> <p>対象システム： IKX財務会計R4/財務応援 R4 Premium</p>
振替伝票 入力 入金伝票 入力 出金伝票 入力	<p>■振替・入金・出金伝票入力で、消費税仕訳の自動作成機能を追加します。</p> <p>【自動仕訳手順】</p> <p>①「会社基本情報変更」-「消費税情報」-「消費税仕訳自動作成」で「する」を選択します。</p> <p>②伝票入力の金額欄で「Enterキー」または「↓キー」を押すと次の行に消費税自動仕訳が作成されます。</p> <p>※自動作成条件：消費税発生する科目を入力し、次の行が何も入力していない(空白)場合。</p> <p>■消費税自動作成のファンクションキーの位置を変更します。</p> <p>「SF7 消費税自動」 ⇒ 「F7 消費税自動」</p>

5. 障害対応について

Ver. 20.10 の障害対応の情報は、2020 年 1 月上旬に発行予定のリリースインフォメーションにおいてご案内します。

以上、よろしくお願いたします。